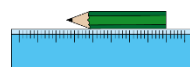


家庭学習について【低学年】



～家庭学習へのやる気を高める3つのコツを紹介します～

☆家庭学習とは、宿題と自主学習を合わせた学習のことです。



☆家庭学習の目安の時間は、10分×学年です。

☆家庭学習をする時間を決めて、毎日続けるようにしましょう。

☆3年生からは、少しずつ自主学習を取り入れましょう。



◎低学年の家庭学習◎

○1年生は10分、2年生は20分、毎日机に向かって学習するようにしましょう。

○まず宿題をします。

○宿題の他に、得意(苦手)な学習、興味のある学習などができるとよいです。(自主学習)

○最後に、連絡帳や手紙を見て、次の日の準備をします。(鉛筆も削っておきましょう)

◎低学年の自主学習メニュー例◎

国語	算数	生活/音楽/図工/体育など
<ul style="list-style-type: none"> ひらがな、カタカナを書く。 習った漢字を使った文を書く。 間違えないように音読をする。(教科書など) テストで間違えた字の練習をする。 日記や絵日記を書く。 作文を書く(驚いたこと、嬉しかったことなど/自分で考えた物語など) 教科書の文をそっくりそのままに書く(視写) 本を読む。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の問題を解く。 宿題で行った計算ドリルの問題をもう一度解く。 テストで間違えた問題をもう一度解く。 算数の問題を作る。 百マス計算に挑戦する。 足すと10になる数を唱える。 九九の暗唱ができるように練習する。(のぼり、さかさま、バラバラ) 	<ul style="list-style-type: none"> 生き物や草花の観察をして、絵や文でまとめる。 草花の世話をし、育てる。 おうちの人にインタビューしたことをノートに書く。 習った曲を歌ったり、鍵盤ハーモニカで演奏したりする。 家の仕事のお手伝いをする。 好きなものの絵をかく。 家の人と料理をする。 縄跳びをする。

*特に低学年のうち、お家の人ができるだけそばにいてあげて「頑張っているね。」「このテーマ面白いね。」「こうしてみたら？」などの声をかけてあげると、楽しみながら家庭学習の習慣がつくようです。

1 時間と場所はなるべく同じに

習慣化のためには、「決められた時刻」に、「決まった場所」で勉強をすることが大切です。「ご飯の前」「学校から帰ってきてすぐ」、「リビング」「自分の机」など、決まったタイミングと場所で学習すると習慣化しやすくなります。「勉強をするのは子供部屋がよいか、リビングがよいか」と疑問に思われる方もありますが、環境が整っていれば、どちらでも大丈夫です。子供の勉強時間に一緒に読書をしたり、家計簿づけをしたりするのも良いようです。

- ポイント**
- 「決まった時刻に」「決まった場所で」が理想
 - 例外を作らず、必ずやる

2 学習に集中できる環境を

勉強中は集中を妨げる物を取り除くことも重要です。テレビやゲームの音がしていたり、机の上にマンガ雑誌がのっていたりすると集中しにくくなります。勉強する時間はテレビを消す、兄弟で同じ時間に勉強に取り組ませる、机の上を片付けて学習用具のみにするなど、集中力を削がない環境づくりをすることが大切です。また、姿勢も重要です。背筋を伸ばして座るようにお声掛けください。腰を入れた状態(「立腰」)で座ると集中しやすくなります。

- ポイント**
- 静かな場所で
 - 机上には学習用具だけ
 - 姿勢良く

3 やる気を高める最大の手立て「保護者の方の声掛け」

「宿題やったの!？」子供の意欲を伸ばすには、前向きに学習に取り組める言葉掛けが不可欠です。子供が宿題を終えたら、カレンダーにシールを貼る、マーカーで記録する等、頑張りを目に見える形にして残すことも効果的です。特に低・中学年は自分で勉強のしかたを考えることが難しいため、一緒に取り組みながら、つまづいたときにヒントを出してあげるなど、子供に寄り添っていただければと思います。そして、何よりも大切なのは、お家の方が子供の学習や生活に関心をもっていているというメッセージです。人は自分に関心をもってくれる人に関心をもつようになるそうです。「目をかけ、手をかけ、言葉をかけ」て、お子さんのやる気を引き出してください。

- ポイント**
- できたことを認める
 - 目をかけ、手をかけ、言葉をかけて

資料1) ~家庭での過ごし方と学力 その関係~

家での過ごし方と学力には大きな相関関係があります。以下、ご参照ください。

(東京都教育委員会実施「平成31年度児童・生徒の学力向上を図るための調査」より)

*数字は平均正答率(%)

「学校以外で、毎日およそどのくらい学習をしますか。(塾や習い事は含めません)」

	国語	社会	算数	理科
1時間以上	74.6	73.5	70.1	63.3
30分~1時間未満	66.6	66.7	58.8	56.1
0分~30分未満	59.4	57.7	48.6	49.1

「毎日読書をどのくらいしますか。」

	国語	社会	算数	理科
1時間以上	72.8	72.0	65.4	61.9
30分~1時間未満	70.8	70.4	64.0	59.8
0分~30分未満	60.3	59.2	52.5	50.1

「家の人と、学校の出来事について話をしていますか。」

	国語	社会	算数	理科
している	70.2	68.8	62.2	58.4
たいていしている	67.1	67.0	60.2	57.0
しないことが多い	64.1	63.8	57.5	54.6
しない	58.7	57.3	50.8	48.8

いずれの調査結果からも、家庭での過ごし方が充実している児童は学力も高い傾向が見出せます。

ぜひ、各ご家庭で放課後の時間の使い方を検討してみてください。

資料2) 東京ベーシック・ドリルをぜひご活用ください

「自主学習で苦手な部分を補いたのだけれど、何をさせると良いか分からない。」といった悩みのある方は、ぜひ「東京ベーシック・ドリル」をご活用下さい。

「東京ベーシック・ドリル」とは、東京都教育委員会が作成した、小学校1年生から中学校1年生までの国語・算数・数学、小学校3、4年生の社会・理科、中学校1年生の英語の基礎的な学習内容及び知識を身に付けるためのドリルです。お子さんの学習定着状況に応じて、学年をさかのぼって問題に取り組むこともできます。ぜひダウンロードをしてご活用ください。

参照)「東京ベーシック・ドリル」

http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/school/study_material/improvement/tokyo_basic_drill/

資料3) 姿勢と鉛筆の持ち方も気を付けてあげてください

家庭学習の際、ぜひ「鉛筆の持ち方」「座り方」も見てあげて下さい。鉛筆を正しく持つと、適切な筆圧で字を書くことができ、形の整った文字を書きやすくなります。整った形で書かれたノートは復習などでも見返しやすく、その結果、学習事項も定着しやすくなります。

また、座り方についてですが、正しく座ると長時間の学習が苦ではなくなります。腹筋や背筋もバランス良く発達するとともに、気持ちの面でも学習に向かいやすくなります。健康面に関わるので、学習中の姿勢についてもお声掛けいただけると幸いです。

